

両儀家の女



R18
ADULT ONLY

じゃー自己紹介からシクヨローw
「初めまして、両儀式30歳です…
よろしく願います」
そんなんじや全然自己紹介に
なつてなくね？w
3サイズとかもつと他に言うこと
あるっしょw
「サイズは…図ってないから
わからないわ…
暴対法で家が検挙されてしまって、
ほかの組に大きな借金を作って
しまったの」
「それでママなのにAV出演でwww
転落人生まっしぐらじゃんw
逃げようと思わないの？w」

「こいつ旦那と娘の身柄を
抑えられてんだよw
その契約書にサインさせられ
てつから逆らえねーんだw
何でも言うこと聞くぜw」
「あーだからこんな大人しいんだw
すっげー怖いつて聞いてたのにw」
「つーか30とかおばさんじゃん
wきつつw」

「おーい、現場についたしさつさと
撮影始めよーぜ」
「おっけー、それじゃあ式ちゃん
初めてAV緊張するだろうけど
頑張つてねーw」
「借金返し終わつたら末那ちゃん
だっけ？会わせてあげるからw」
（まあそう簡単に返しきる金額じゃ
ねえけどなw向こうもぼちぼち
始まるだろうしw）

「おい式ちゃんもつとエロく指動かしてwそんなんじや誰も見てくれないよw?w」

「へつたくそなマンスズリだなあ式ちゃんこういうことしたことないの?w」

「な、ないわ...」

「まじかよwこれはしつかり教育してやらねーとなあw」

「授業料は売り上げから天引きにしとくからw早く覚えなないといつまでも借金地獄だぞw」

「そんな...」

あっ♡

いつ♡

「到着する前にイってねーうちのスタジオ人気だから他にも予定詰まってんのよ」

「てかおっぱいでつかw」
「でもちよつと垂れてねw」
「やっぱ経産婦だなw」
「これからもつとだらしねえ乳にしてやつからw」

イクっ♡

あっ♡
あっ♡

「はいそれじゃそこの
男子トイレで撮影しまーすw
両儀さん全裸でスタンバイ
よろでーすww」

「…女子トイレじゃないの？
…」

「…男子トイレしかねーよw」

「…おやんちな…」

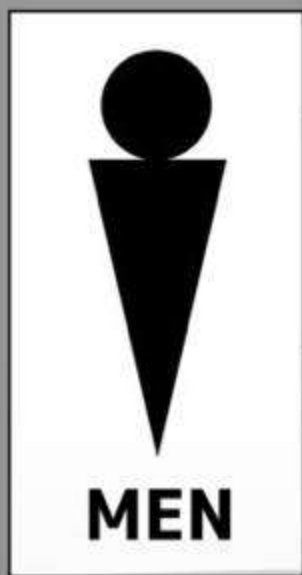
「今から衣服着用禁止だから
全部脱いでってねー」

「あ、この首輪つけてねー
事務所に領収書あるから
あとで首輪代払ってね」

「え…私が…?」

「そうだよ、俺たちは式ちゃんか
借金返済する手伝いでAV撮るんだし
必要経費は式ちゃんが出すのは
当たり前でしょ」

「…」



「最近テレビもタレントが自分で突撃アポ取る時代だからなw」

「見つかったら通報されつかもだからw全裸でパクられるとかいやでしょwマジ自殺モンだわw」

「ちゃんと中に人いないか確認してねー」

トキ

トキ

「まあそんな怒るなつてwあ、でも式ちゃん早くしないとマジでスタジオ利用料バカ高くなっちゃうよw」

「どーもー」
「…誰もいない…
と思うわ…」
「じゃあさっさと行けよー！
ごっちは暇じゃねえんだぞー！」

「わ、わかってるわ…」
「おっけーwじゃあ撮影スタートw」

「美女が公衆トイレに全裸ってW
不釣り合いすぎて笑えてくるわW」

「……っ……お前らがやらせてるんだろ……」

「は？なんだよ？文句あんのか？
てか男口調やめろっつったよな？
マジナメてっとお前のガキ
ぶっ殺すぞ？」

「っ!？」

「式ちゃんさあ、もつと
自分の立場考えたほうが
いいよ？W俺らだつて別に
式ちゃんいじめたいわけ
じゃないんだぜ？W
だから借金返済の手伝い
してんだからさW」

「……めんなさい……」

「ちっ……これだから
アラサーババアはよお……
さっさと台本通り進めるぞ！
二度と逆らうんじゃねえぞ！
ほらカメラ回ってシンドろ！
セリフ止めんな！」

「まずは便器舐めながらオナニー
からねーW」

「……はい……」

ジヨボボボボボボボボボボ!

「んぐっ!?!ごぼっ!?!
おえっ」

「なに嫌がつてんだ!しっかり
受け止めるや豚便器が!その年にも
なつてろくにオナニーもできないとか
大人として恥ずかしくねーのかよ!」

「んんー!んんー!」

しゃしゃ

しゃしゃ

「ゴリや一発気合いれ
てやんねーといけない
みたいだな...おい
アレ1の用意しとけ」

ズブツ!!

「ひんっ!?」

「大人しくしろオラっ!
その世間知らずの箱入りアナルで
たるんだ根性叩きなおしてやる!」

「そういえばこいつのアナル使った時
なかったですもんねwやっぱ気の強い
女はアナル躰けとかないとw」
「ふうーっ♥ふうーっ♥」

「ふうー♥

「ヒロ
キョクンッw」

「まずは1回...
これで俺たちを一周相手に
出来たらウンコさせてやる」
「二周だから楽勝っしょw
その代わり漏らしたら
ペナルティあつからww
家族が大切ならガンバろーねw」

「もっ……ムリ……ださせて……」

「話聞いてなかったのか？俺ら
全員相手にしたら出させてやるよ」

「そんな……出ちやう……」

「勝手に漏らしたら借金
タコ部屋行きだからな」

「マジオレら二人相手するだけだし
ヨユーっしょW終わったら
ちやんとウンコさせてやっからW」
「ふたり……だけ……」

「そーそーW簡単しょW
てかさつきから尻こいてね？W
しっかりしてよーW
そんなんじや娘に笑われるってW」

（二人相手すれば……終わる……もう少し……）

「人妻まんこの具合どうよ？」

「んー。。。まあまあつすねw
絡みついてきますけど締りが
イマイチつすわw」

アツッ

オオツ

「それよりコイツ
セックス下手すぎで
イライラしますわ」
「その辺も仕込まねーとな」

「く。。。るし。。。休ませて。。。」

「まだ始まったばかりだろ
甘えんな」

「あーやっぱガキ産んでっから
ちっと緩いなあ」

ブルン

キュン...

キュン...

ブルン

「あーそろそろ腹が苦しく
なってくるころか？」

「つすねwせつかくだし
中出していいつすか？w」

「いいぜ、最悪アフターピル
飲ませるしな」

オオツ

ン
ン
ン
ン
ン
ン

オッ
イッ!

オッ
ヒッ

ヒッ

ヒッ

「こいつガバガバのくせに
感度は良いっすよw」

「こつちが気持ちよくなえと
意味ねえだろ」

「隆トレとかさせたほうがいいんすかね」

「って先輩なにしてんすか？」

「気合が足りねえみたいだからな
…焼酎一本追加だ」

「うわwwエグくないすか?w
直腸酒ってマジやべーらしいですよw」

「このくらいじゃ死なねーよ」

ゴッ
ゴッ

ヤッ!!
待って!!?

オッ
イッ!
オッ
イッ!

?

?

「うわっこいつ漏らしてゐるっすよ!?
やっぱ焼酎はやりすぎっすよ!」

「あーあー、俺まだやってねーのによお
撮影もまだ終わってないってのに
本当に締りのねえババアだな」

「これどーするんすか?これだともう撮影
にならないっすよ!」

「。。。しようがねえ撮影は中止だコイツ連れて帰るぞ
契約違反でタコ部屋ぶっこむぞ!」

「えー。。。あそこ入れるんすか。。。?
この子も組長の女行きかあ。。。
オレこういう気の強い子結構
好きなんすけどね。。。!」

その後のことはよく覚えてない...
車に詰め込まれて気が付いたら
狭い部屋に監禁されていた。

私は半グレの男たちに犯され続けた。

セックスをしていない時は意識が
朦朧とするまで大声で組長への
服従を誓わされ、眠れば水槽に
顔を押し込まれた。

食事はろくに貰えず、水は男たちの
機嫌がいい時だけ与えられた。

何度もお尻からアルコールを
入れられ、出したものを
食べさせられることもあった

そして自分が誰か分からなくなった頃に
組長がやってきた

その頃にはもう男に対して恐怖を植え付けられただけ服従するだけの雌になり下がっていた。

組長はそんな私を満足そうに見つめ頭を撫でた何故かわからないけれど、それがとても嬉しくて失禁してしまった。

またお仕置きされると思ったが、「よく仕上がっている」と褒めてもらった。

後から聞いた話だとあそこは借金をしている組のタコ部屋と呼ばれる場所らしく、

どうやら私が撮影を途中で放棄したとみなされ契約不履行の代償に私は組長の玩具として徹底的に教育されることになっていたようだ。

私がタコ部屋に入っている間に幹也は薬で廃人にされてしまったらしく娘の未那には会えていない。

でも、もうどうでもいいもう二度とタコ部屋には戻りたくない。

次回は「の子」!

未那ちゃんが頑張るよ!



両儀家の女



スタジオ無垢色